

中野市学校給食センター運営委員会（第2回）会議録

名称 中野市学校給食運営委員会
日時 平成20年12月22日（月）午後6時～午後7時
場所 中野市南部学校給食センター 会議室
出席者
（委員） 藤森義一委員、渡辺秀行委員、山崎衛一委員、金子高幸委員、藤澤佳繁委員、
春原紀子委員、増田正明委員、真篠篤委員 8名
（市側） 小林次郎教育次長、久保広二所長、中島宣子主任主事
臼井純人主幹、清水信子栄養教諭、阿部京子栄養士、丸山敏枝栄養士
小林晴江栄養士 8名
欠席委員 出川美雪委員 1名
会議成立 給食センター運営委員会条例第5条第2項の規定により定足数に達している。
会議資料 会議次第、給食費の改定について、食育の現状
会議内容

（1）給食費の改定について

- ・所長より資料に基づき、説明する。
- ・教育次長より、給食費について、県下19市の中で7市が今年度4月から値上げを実施し、現在、他市の多くの市においても値上げについて検討している状況である。12月議会において総務文教委員に説明し理解を得たこと。また11年間据え置き、努力してきたことや本年度4月の調査段階では小学生の給食費は県下で1番低いこと。給食費を値上げすることには抵抗があると思うが、現在、食材の値上がりから献立の工夫等で努力をしている。基本的には平成19年度の給食献立ベースに戻したいと補足説明する。

質疑応答

- （委員）給食費については、19市のうち多くは4月から値上げしているが、小さい町村は値上げしていないように思われる。どういう理由かわかりますか。
- （栄養士）小さい町村の場合は、米飯を委託しないで自校炊飯しているからだと思います。しかし食材は値上がりしているため厳しいと聞いています。
- （委員）食材が値上がりしている状況ですが、今回の値上げした場合に何年ぐらいもつと考えているのか。
- （所長）諸物価の動向等を見極めながら食材の値上がり状況を調査し、検討しているので、食材の値上がり動向が先まで読めないで、何年とは言えない。
- （教育次長）物価動向を見たうえで、食材価格の上昇が続けば2、3年後には検討することも考えられる。議会の質問でも聞かれたが、給食費の値上げ分について市で補助する考えはあるかとのことでしたが、市としては食材費のみを保護者に負担していただいているため補助については考えていない。学校給食法では保護者に光熱水費も負担できるが保護者の負担軽減を図るために市で負担しているので間接的には市で

補助していることとなります。

(委員) 栄養士さんにお聞きしたい。給食の献立表を見させてもらったが、給食献立を作成するときの給食のねらいや価格を抑えるための工夫等について聞かせていただきたい。

(栄養士) 児童生徒のために安全安心な給食の提供に努めています。特に食品の安全性確保のため地元食材を多く使用し、食材でも価格の安いものを使用するなど努力をしています。

豊田センターでは、地元生産者の会である「ふるさとファーム」からの野菜を優先して使用している。また特殊パン(メロンパンなど)は高くなるのでおかずをパンにはさんで食べられるようにするなど献立の工夫をしています。

(所長) 学校訪問で日野小学校へ行ったときにご飯にふりかけをかける給食であった。今までは児童一人一人に小袋で渡していたが節約のためクラスに1つの大袋になったため先生が均等に一人一人にかけていた。児童からも不満の声があり給食時間が限られていることから食事時間が少なくなり給食に影響が出ていると感じた。

(2) その他

(委員) 納入業者の衛生管理について、食品衛生協会でも講習会を実施しているが、食材の検査に費用がかかるといって検査をしない業者も要る。給食食材の納入業者に衛生講習会等開催して指導をお願いしたい。

(所長) 食材納入業者の衛生管理については保健所の協力を得ながら指導している。センターの職員についても衛生管理研修会を開催して衛生管理の徹底を図っている。今後、食材納入業者の衛生管理研修会については、市内栄養士会で検討したい。

・食育の現状について

(栄養教諭) 資料に基づき説明

質疑なく全員了承

(教育次長) 委員から頂いた意見や要望は、12月25日開催の定例教育委員会等へ報告し反映されるようにしていきたいと考えています。

午後7時終了